



年頭のごあいさつ

有田川町長 中山 正 隆

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は、紀の国わかやま国体・わかやま大会が開催され、本町の学校関係職員が剣道団体で優勝するなど、皆さまの活躍により輝かしい一年であったと思います。

2016年1月1日は、本町にとって合併して10年という記念すべき日であります。

合併当初計画した施策の多くを実施することができましたことうれしく思っております。これも全て町民の皆さま、関係各位のご理解とご協力のおかげであり、ここに深く敬意と感謝を申し上げます。

近年、少子高齢化と人口減少が急速に進む中、地方創生は、国と地方において共通する大きな課題であり、将来の目標を定め、豊かで明るい元気な地方を創ることにあります。本町においても、昨年10月「有田川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。平成28年度より目標達成に向けた施策を予算に盛り込んでいきたく考えています。また、本年4月、御霊、田殿、さび中央の3つの保育所を統合した新保育所「さび森の保育所」が開所の運びとなっております。昨年に引き続き子育て支援をはじめ、産業、教育、福祉施策の充実と道路および生活環境の向上、防災など安心・安全なまちづくりに取り組み、魅力あふれるまちづくりの新たな10年のスタートの年としたいと思います。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

有田川町議会議長 中山 進

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、昨年中は皆さまのご支援により、議員活動に精励できましたことに対し、心からお礼申し上げます。

平成18年にスタートした本町も10年が経過いたしました。次の新しい時代に向けてさらなる発展をすべく、私どもも気持ちを新たに、今後も本町ならびに町民の皆さまのために、努力して参りたいと思えます。

さて、昨年を振り返りますと、さまざまなことがありましたが、和歌山県においては、5月に高野山開創千二百年記念大法会、10月には紀の国わかやま国体・わかやま大会などがあり、県内に多くの人々が訪れました。町内においては、中学生による「第一回子ども議会」が開催され、子どもたちにまちづくりに関心を持ってもらいました。

国においては、人口減少の克服と地方創生に関する施策が示され、本町においても、将来へのまちづくりのビジョンである「有田川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。これにより、女性が住みたいまちづくり、住民主体のまちづくり、ずっと住みたいまちづくりを目指して、地域の活性化や農林業の振興、巨大地震などに対する防災対策などに取り組んでいかなければなりません。

私たち議会は、これらの課題に積極的に取り組み、住民の福祉向上のため、また安心安全のまちづくりを目指して、町民の代表としての認識に立ち、皆さまのご意思を町政に反映させるべく、議会としても全力を尽くしてまいりたいと思います。どうか本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆さまにとって明るくすばらしい年となりますよう、また益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。